

【福島県合同輸血療法委員会】

輸血に関するアンケート調査集計結果（2019年）【2020年6月25日時点】

診療所版

1 調査対象施設等

- (1) 調査対象施設：県内の診療所41施設
- (2) 調査対象期間：2019年1月から12月まで
- (3) 調査方法：アンケートへの依頼文書を郵送で送付し、福島県薬務課のホームページよりファイル（Excel形式）でダウンロードし、記入したファイルをメールに添付した形で回収した。対応が困難な場合は、FAX等で回収した。
- (4) 回収率：31.7%（13診療所から回答）

2 集計結果の概要（項目別）

◎集計結果の報告書を作成するにあたり、病院名等を公開してよいか

可：4診療所（30.8%）

I 輸血管理料取得状況について

取得医療施設なし：12診療所、無回答：1診療所

II I & A取得状況について

取得予定なし：11診療所、無回答：2診療所

III 輸血療法委員会等について

(1) 輸血療法委員会等の設置数

1診療所（7.7%）

(2) 輸血療法委員会を設置しない理由（複数回答あり）

11診療所（84.6%）

（使用がほとんどない：5、他の委員会で協議：4、指導医がない：4、その他：0）

(3) 輸血療法委員長の職種

医師（専門科目：泌尿器科：1）

(4) 輸血療法委員会の開催回数（回/年）

12回/年：1

(5) -1 県内認定臨床輸血看護師、アフェレーシスナース、自己血輸血看護師、認定輸血検査技師人数（合計）

該当医療施設なし

(6) -2 輸血療法委員会参加人数（医療施設数/輸血療法委員会有1施設）

医師	1名	} 合計6名
看護師	4名	
事務	1名	

IV 指針等について

(1) 輸血部門の設置数等（複数回答あり）

輸血部門：設置医療機関なし

看護部 1件

血液製剤保管場所（複数回答あり）

{	検査部	2件
	薬剤部	2件
	透析室	3件
	その他	4件

(2) 自記温度計、警報装置の設置数等（複数回答あり）

自記温度計：4診療所（30.8%）

{	記録の頻度	毎日	5件
		していない	2件
		未回答	6件

警報装置：4診療所（30.8%）

{	冷蔵庫・冷凍庫の保守点検の頻度	毎日	3件、年に1回	4件、半年に1回	2件、月に1回	1件、
		異常時	1件、していない	1件、未回答	1件	

(3) 他の管理項目等

1) 運搬容器の設置：3診療所（23.1%）

2) 輸血用血液製剤と血漿分画製剤の管理の一元化：4診療所（30.8%）

3) 管理記録簿等：12診療所（92.3%）

内訳（複数回答有）

手書き伝票：10、両方：1、その他：1

(4) 感染症検査用検体の保管等

2診療所（15.4%）

(5) 輸血前後の感染症検査の実施

輸血前のみ 2、輸血後のみ 1、輸血前後両方 5、行っていない 4、未回答 1

(6) 遡及調査ガイドラインで求められる検査項目の認知（新規調査）

6診療所（46.2%）

V 輸血用血液製剤使用状況について

全血液製剤使用単位数合計444単位

(1) 赤血球製剤の使用量は430単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は、96.8%である。

(2) 血小板製剤の使用量は0単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は、0%である。

(3) 血しょう製剤の使用量は14単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は、3.2%である。

VI 輸血用血液製剤廃棄状況について

全血液製剤廃棄単位数合計 6 単位

全血液製剤の廃棄率は 1. 3 % である。

- (1) 赤血球製剤の廃棄量は 6 単位。
- (2) 血小板製剤の廃棄量は 0 単位。
- (3) 血しょう製剤の廃棄量は 0 単位。

○輸血用血液製剤の在庫状況

輸血用血液製剤在庫有 0 診療所

VII (1) 年代別及び男女別輸血状況について

輸血患者総数 84 人

90 歳以上	4 人 (4. 8 %)
80-89 歳	21 人 (25. 0 %)
70-79 歳	25 人 (29. 8 %)
60-69 歳	22 人 (26. 2 %)
50-59 歳	6 人 (7. 1 %)
40-49 歳	2 人 (2. 4 %)
30-39 歳	4 人 (4. 8 %)
20-29 歳	0 人 (0. 0 %)
10-19 歳	0 人 (0. 0 %)
5-9 歳	0 人 (0. 0 %)
0-9 歳	0 人 (0. 0 %)
男性	38 人 (45. 2 %)
女性	46 人 (54. 8 %)

VIII (1) 診療科別輸血状況 (回答医療施設数 : 12)

内科全体数 65 人

消化器内科 :	5 人
循環器内科 :	2 人
呼吸器内科 :	0 人
血液内科 :	0 人
その他内科 :	58 人

外科全体数 0 人

消化器外科 :	0 人
呼吸器外科 :	0 人
心臓血管外科 :	0 人
形成外科 :	0 人
整形外科 :	0 人
脳神経外科 :	0 人
その他外科 :	0 人

その他診療科全体数 17 人

小児科 :	0 人
産婦人科 :	3 人
泌尿器科 :	3 人
麻酔・集中治療科 :	0 人
その他 :	11 人

IX 自己血輸血について

自己血輸血実施診療所：0 診療所（0. 0%）

○貯血式自己血輸血（液状保存）

実施症例件数（同種血併用例）：0 例（0 例）

採血量（貯血量）：0 単位

使用量（輸血量）：0 単位

○貯血式自己血輸血（凍結保存）

実施症例数（同種血併用例）：0 例（0 例）

○回収式自己血輸血

実施症例数：0 例

使用量の管理部門での把握：

はい	2 診療所
いいえ	4 診療所
その他	1 診療所
未回答	6 診療所

○希釈式自己血輸血

実施症例数：0 例

使用量の管理部門での把握

はい	1 診療所
いいえ	3 診療所
その他	1 診療所
未回答	8 診療所

X 血漿分画製剤使用状況について

アルブミン製剤合計：462. 5g

フィブリノゲン製剤合計：0. 0g

X I 外来輸血及び在宅輸血について

(1) 外来輸血または在宅輸血実施

外来輸血	7 診療所
在宅輸血	1 診療所
どちらも実施なし	4 診療所
未回答	1 診療所

(2) 外来輸血後の患者観察

医療関係者	4 診療所
医療関係者・ 患者家族	3 診療所

(3) 在宅輸血時の患者観察

医療関係者	1 診療所
医療関係者・ 患者家族	1 診療所

(4) 外来輸血または在宅輸血を実施している患者の主な診療科

血液内科	0 件
消化器内科	1 件
循環器内科	1 件
その他	6 件（透析科 4 件・他泌尿器科 2 件）

- (5) 疾患名・人数
- | | |
|-------|------------|
| 血液疾患 | : 1件 (1人) |
| 腎疾患 | : 3件 (7人) |
| 悪性腫瘍 | : 4件 (5人) |
| 消化管出血 | : 1件 (1人) |
| その他 | : 1件 (7人) |
- (6) 使用されている製剤の種類
- | | |
|--------|--------|
| 赤血球製剤 | : 79単位 |
| 凍結血漿製剤 | : 0単位 |
| 血小板製剤 | : 0単位 |
- (7) 実施中または実施後の有害事象発生: 0診療所
- (8) 外来輸血に対応した有害事象発生時のマニュアル: 4診療所 (30.8%)
- (9) 外来輸血実施後の院内での休憩時間
- | | |
|------------|------|
| 30分未満 | 1診療所 |
| 30分以上1時間未満 | 3診療所 |
| 1時間以上2時間未満 | 4診療所 |
| 2時間以上 | 0診療所 |
- (10) 外来輸血が必要とされる患者の紹介先が予め決まっている: 7診療所 (53.8%)
- (11) 輸血のみを診療目的とする患者の受入: 0診療所

XII 製剤別購入量・廃棄量について

	購入量 (単位)	廃棄量 (単位)	廃棄率 (%)
赤血球製剤	436	6	1.4
血小板製剤	0	0	0
血しょう製剤	14	0	0